

# 牛久：学校周辺に見る自然

第42号 ひたち野うしく小校庭

2016年11月5日発行

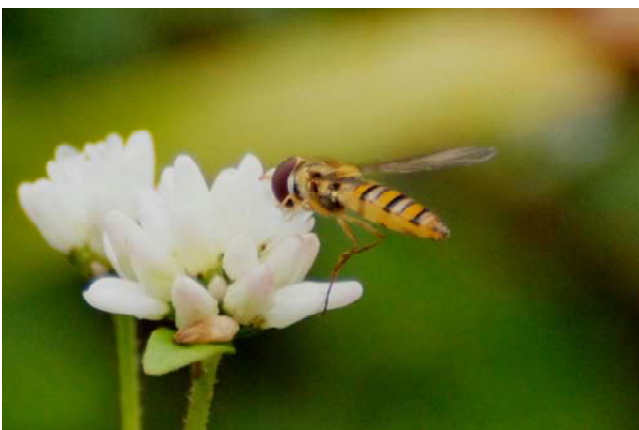
## < 秋の校庭 >

こんにちは。今回は、ひたち野うしく小3年生とのみずべ公園観察前に校庭で写した生きものたち。



校庭のヤマボウシ(左)、パッションフルーツ(中)、ツバキ(右)の実。

校庭には桜やキンモクセイなど花の咲く樹木だけでなく、どんぐりのなるコナラやクヌギ、ブルーベリーやヤマボウシなど、動物たちが好きな実のなる木がたくさんあります。これらが大きくなり、またそこにやってくる鳥たちが、ヤツデやクスノキなどの種子を糞としてまいてのびてきたら、もっといろいろな動物たちが集まってくるようになるでしょう。何をかくそう、うちのせまい庭には鳥が種子を運んで来たと思われる樹木がマンリョウやヤツデなど10種類近くあって、その花や実を目あてにいろいろな鳥たち、虫たちがやって来ます。校庭に植える木も、そうした生きものどうしのつながりを意識して選ぶといいですね。以前、市のサイエンスフェスタがあったころには、「タネを知ろう・タネで遊ぼう！」と題して、植物の種子散布のいろいろを標本展示や工作等により紹介していました。勤務校以外でも声をかけていただければ出前授業など時間が合えば対応しますので、遠慮なくお申し出ください。



校庭には、ビオトープの他に小さな池があります。ここまでしっかりしていなくても、みずべがあるだけでトンボなどいろいろな動物がやって来ます。いつでしたか、ビオトープにノウサギが現れたという話もありましたね。危ないからとめてしまう学校もあると聞きますが、じつにもったいない。

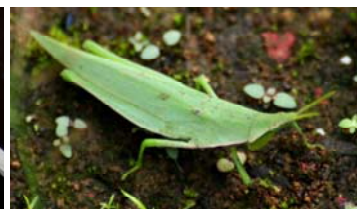
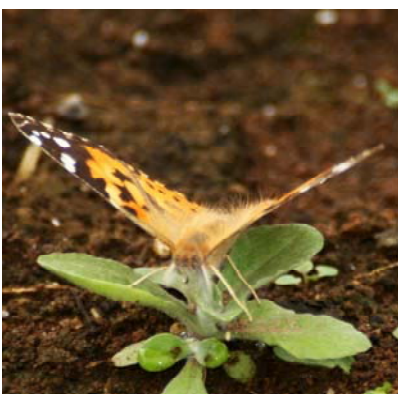
池のアメンボ(左上)とみずべの塔のミゾソバに来たホソヒラタアブ(左下)、プランターにとまるアキアカネ(右)。



みつ かふん 蜜や花粉を求めて花壇の花に集まるセイヨウミツバチ(上2枚)や  
 トラマルハナバチ(下2枚)など。

花壇やプランターにも、いろいろな花が育てられていますね。あえて「育てられて」としました。それは水やりや  
 草取り、肥料などをさぼればダメにしてしまうからです。

おかげで、ハチやチョウなどたくさん訪れてくれます。どうぞ皆さん、校庭の生きものたちにも目を向けて下さいね。【理科支援員:宮内】



左からヒメアカタテハ、スズバチ、チャミノガのみの、オンブバッタ。